



国立大学法人

東京学芸大学

2020年度秋学期 担当 南浦涼介



日本語政策論

第5回 11月24日

歴史から日本語教育の論点争点を探る
近代の日本語政策①

授業は16:10からです。しばらくおまちください。
コメントスクリーンの準備など、よろしくおねがいします！

単元1 「論点争点編」で提示されたこと

日本語教育を考える上での論点争点①

共同体の成員条件の緩和問題

コミュニティの成員条件問題

共同体の成員として、外国から来た人を「同じ〇〇人」と認めていくことは可能か？

日本語教育を考える上での論点争点②

共同体の共通語としての日本語規範の緩和問題

コミュニティの言語規範問題

共同体の成員条件としての「日本語ができること」は言語的厳密性が共同体的実用性か？

日本語母語話者は「共同体の用いる日本語の規範」を緩和できるか？ 寛容になれるか？

日本語教育を考える上での論点争点③

日本語教育を「語学モデル」から「教育モデル」として組み立て直す問題

教育問題

地域に暮らし社会に生きる生活者としての外国人（実は留学生も、技能実習生も、子どももみんなそれ）という前提に立ったとき、日本語教育は「語学」という思想ではうまくいかなくなっていく。

日本語の教え手はどのような立ち位置で、どのような形で、どのような言語教育をめざす必要があるのだろうか？

「歴史」から探る

歴史を以下の「目」で探る

「日本人」という共同体はどのように作られてきたのか？

「日本語の規範」はどのように作られてきたのか？

「言語教育」はどのように関わってきたのか？

日本語教育を考える上での論点争点①

共同体の成員条件の緩和問題

共同体の成員として、外国から来た人を「同じ〇〇人」と認めていくことは可能か？

コミュニティの成員条件問題

日本語教育を考える上での論点争点②

共同体の共通語としての日本語規範の緩和問題

共同体の成員条件としての「日本語ができること」は言語的厳密性が共同体的実用性か？

日本語母語話者は「共同体の用いる日本語の規範」を緩和できるか？ 寛容になれるか？

コミュニティの言語規範問題

日本語教育を考える上での論点争点③

日本語教育を「語学モデル」から「教育モデル」として組み立て直す問題

地域に暮らし社会に生きる生活者としての外国人（実は留学生も、技能実習生も、子どももみんなそれ）という前提に立ったとき、日本語教育は「語学」という思想ではうまくいかなくなっていく。

日本語の教え手はどのような立ち位置で、どのような形で、どのような言語教育をめざす必要があるのだろうか？

教育問題

あなたが王様だったらどうしますか？

時は19世紀。東洋のある島国のお話。

あなたの国は大きな近代化改革を行いました。

それまで諸藩に分かれていた国を、中央政府が取りまとめ、また、公教育も開始されることになりました。

あなたが王様だったら、どのような教科をつくりますか？ これは重要だろうと思うものを、3つ提案してください。

国語
社会
法律
思想

言語能力の水準を上げる
よみかきそろばんという3RS
法律を一つに
共通語
文字の統一
体育

この教科は何の教科でしょうか？

第十三課 神戸より東京まで

午後六時の汽車にて、東へ向ひ、五十分に於て、大阪に着く。東京へは、其の汽車にて、行かるれど、わざと、乗りかへて、大和の奈良へ行き、奈良に一泊して、大佛、春日神社等にさんけいす。吉野山も、近けれど、櫻ちりしあとなれば、行かず。

さて、京都へ引き返し、正午の汽車にて、東へ向ふ。程なく、近江の天津に出で、琵琶湖の景色を、左にながめて、美濃の岐阜を過ぎ、尾張の名古屋に着く。名古屋は、京都に次ぐ都會にて、人口二十餘萬あり。工業、商業、甚だ盛んなり。金のしやちをいたゞける名古屋城は、今は離宮なり。

それより、遠江の濱松、駿河の静岡をへて、富士のふもとに出づ。富士は、寫真などにて、見しに勝りて、うるはしき山なり。さて、箱根山を、右

横須賀



に見、あまたのトンネルを過ぎ、相模國に入り、汽車をかへて、鎌倉に出で、遂に、横須賀に着く。横須賀は、軍港にして、大なる造船所あり。こゝより、汽船に乗りて、横濱へおもむく。横濱は日本第一の、はんくわなる港也。碇泊の汽船、港内にみち、内外の商館、軒をならべ、貿易、最も盛んな

り。これより、汽車、北へ走ること、凡そ一時間に於て、東京に達す。

「国語読本」巻7（明治30年ごろ）

資料出所）田中耕三（1981）「国語教科書における地理的教材の推移」『新地理』29-2, p.6

なぜ「国語」の教科書なのに「地理」っぽいのでしょうか？

第1表 下等小学校 教科

1	字 綴	読並盤上習字
2	習 字	字形ヲ主トス
3	単 語	読
4	会 話	読
5	読 本	解意
6	修 身	//
7	書 牘	解意並盤上習字
8	文 法	解意
9	算 術	九々數位加減乗除但洋法ヲ用フ
10	養生法	講義
11	地学大意	
12	理学大意	
13	体 術	
14	唱 歌	当分之ヲ欠ク

どうしてこんなに
「言語教育」系が
多いのでしょうか？

タスク2

「言語教育」って何のためにあるのでしょうか？ 「日本語の政策」として考えるとそれはなぜ？

明治初期、教育で「言語系教育」に重点が置かれたのはなぜ？

今回はここ

ビデオを見よう

井上ひさし『國語元年』

備考 「言語教育」のいくつかの種類

母語教育として

母語教育としての
日本語教育
(いわゆる国語教育)

継承語教育としての
日本語教育
両親が母語話者など
ルーツや母語性を継承するため

北米や南米での日系人子弟に対して
世界各国での海外子女への教育として

境界は曖昧

国内
日本語圏内

国外
日本語圏外

第二言語教育としての
日本語教育
生活者としての外国人

外国語教育としての
日本語教育

日本の小中高校で学ぶ英語教育
大学で学ぶ第二外国語などと同じ

非母語教育として

タスク2

「言語教育」って何のためにあるのでしょうか？

「日本語の政策」として考えるとそれはなぜ？

わしは長州人
じゃ

ワイは大坂の
商人や

三代続いた
江戸の月島です

おらあ米沢から
参りました



アチキは
吉原の太夫
国は相模の出で
ありんす

明治時代の近代化の中で

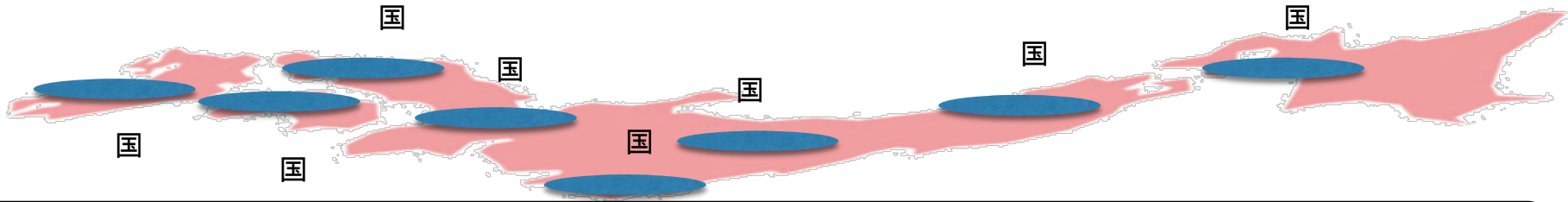
これらを1つにまとめていく必要があった

その1つの道具が「ことば」の「国語化」だった

「私とあなたは違う」「私たち」と「彼ら」ではなく…

私たちは
同じだ

=新しい共同体（近代国民国家）



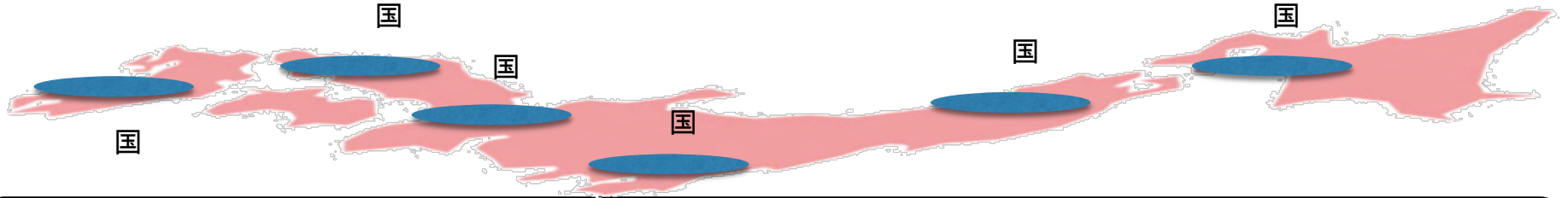
「私たち」という共同体は「実体」ではなく「集団の意識の産物」
ある意味で「幻想」でもある。
「幻想」を「実体」だと感じるようにするためには
共同体管理者の工夫が必要！

- ・教育を実施すること。
- ・国定教科書を用いて同じ教育内容を行うこと。
- ・「地理」で「私たちの範囲」を示すこと。
- ・「歴史」で「私たちの歩み」を示すこと。
- ・「国語」で「私たちのことば」を示すこと。

近代国家における「共同体づくり」（「私たち」づくり）のための
「見えない装置」

私たちは
同じだ

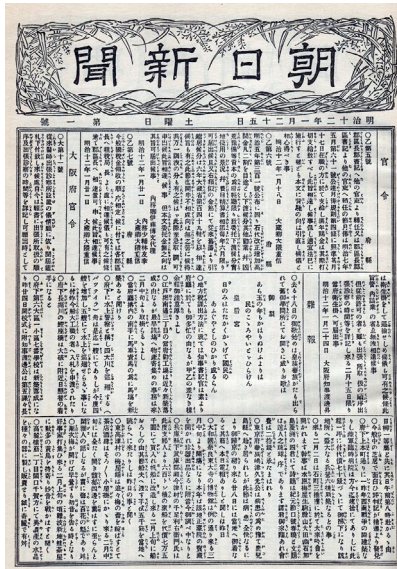
=新しい共同体 (近代国民国家)



「私たち」という共同体は「実体」ではなく「集団の意識の産物」
近代国家における「共同体づくり」(「私たち」づくり)のための
「見えない装置」としても、「ことば」は機能する



近代学校制度と
国語系教科



全国新聞と印刷術

日本近代文学

第66集

文	1
文学	16
小説	39
詩	43
小説	66
小説	82
小説	97
小説	112
小説	117
小説	126
小説	151
小説	152
小説	153
小説	154
小説	155
小説	156
小説	157
小説	158
小説	159
小説	160
小説	161
小説	162
小説	163
小説	164
小説	165
小説	166
小説	167
小説	168
小説	169
小説	170
小説	171
小説	172
小説	173
小説	174
小説	175
小説	176
小説	177
小説	178
小説	179
小説	180
小説	181
小説	182
小説	183
小説	184
小説	185
小説	186
小説	187
小説	188
小説	189
小説	190
小説	191
小説	192
小説	193
小説	194
小説	195
小説	196
小説	197
小説	198
小説	199
小説	200
小説	201
小説	202
小説	203
小説	204
小説	205
小説	206
小説	207
小説	208
小説	209
小説	210
小説	211
小説	212
小説	213
小説	214
小説	215
小説	216
小説	217
小説	218
小説	219
小説	220
小説	221
小説	222
小説	223
小説	224
小説	225
小説	226
小説	227
小説	228
小説	229
小説	230
小説	231
小説	232
小説	233
小説	234
小説	235
小説	236
小説	237
小説	238
小説	239
小説	240
小説	241
小説	242

近代文学と
書き言葉



共通の
話し言葉

論点争点の視点を「歴史」から探る

言語には「共同体化作用」がある。

「同一言語の使用」はその言語の話者同士が、同じ共同体の一員同士だという「共同体感覚」を生む機能がある。

「日本人」という共同体はどのように作られてきたのか？

近代国家創造＝「近代化」とは、「近代国家」を作る過程だった。近代の日本は、意図的に「国」への所属アイデンティティをつくる時代。ここで「日本」「日本人」という共同体感覚は作られてきた。

「日本語の規範」はどのように作られてきたのか？

「日本」「日本人」という共同体感覚をつくるための道具として「日本語」の統一がなされた。

「言語教育」はどのように関わってきたのか？

そうした中で教育で「言語の教育」は重要視され、国語の教科書を通して「日本の輪郭」のイメージも作られていった。